

# 奥出雲の自然の中 のびのびキャンプ



自然の中で食べるご飯はサイコー

八月八日から十一日までの三泊四日で町内外十六校の小学校より約五十名の児童が参加をし、「吾妻山のびのびキャンプ」が行われました。奥出雲町吾妻山のすばらしい自然環境の中で、地域や年齢の異なった仲間と日頃はできない生活体験をすることにより自然と人との触れ合いを深め、豊かな心とたくましさをつつことを目的としていました。

期間中は星空観察、山頂登山、自然観察、ロープワーク、クラフト、キャンプファイヤーなどを行い、自然の恵みと友だちと協力することの大切さを学びました。また夜のキャンプファイヤーでは各班で出し物を行い、踊り、歌い、笑い合いました。電気もガスもテレビもない生活の中で、たくさんの方たちと出会い、協力をし合い、新しいことにチャレンジしたこの体験は夏休みのすばらしい思い出となりました。

## 将来のために 中学生が職場体験学習

横田中学校では、八月二十四日から二十六日、九月八日、九日の五日間にわたり、三年生の総合学習の一環として職場体験学習を行いました。本年度、奥出雲町は地域と学校が連携し、生徒が主体的に自己の進路選択、決定を図るためのキャリア教育を推進する文部科学省のキャリア・スタート・ウィーク推進地域指定を県内で唯一受け、横田中学校が取り組みました。



みんなで敬礼

生徒達は二人から四人のグループに分かれて、製造業、小売業、サービス業など町内の三十二カ所の事業所で働きました。雲南消防署仁多分署を訪れたグループは、消防服に身を包み、基本の姿勢や敬礼、方向転換など規律訓練や、放水体験、救急法講習などを体験しました。

慣れない雰囲気戸惑いながらも、消防士の一員として真剣に訓練に取り組んでいました。生徒からは「人の命にかかわる職場なので、緊張した」、「覚えることが多すぎてすごく疲れた。毎日働いている両親をすごいと思った」などの感想が聞かれました。また、お菓子屋を訪れた生徒は、お菓



レジ打ちに挑戦

子作りの一連の作業を体験しました。「何千個も同じものを作るのは大変。ほとんど手作業なので驚いた」、「お菓子作りが好きなので、お菓子屋で働くことが出来てうれしい」と話してくれました。生徒達は、世代の異なる人達と共に活動する中でコミュニケーション能力、社会性を養うよい機会となったようです。

## 文化の薫り高い町づくりに向けて 奥出雲町文化協会が設立

旧仁多・横田両町の文化協会が合併し、「奥出雲町文化協会」が設立され九月一日、横田コミュニケーションセンターで設立総会が開催されました。当日、設立までの経過報告、会則、役員選出、事業計画・予算などが審議され、会長に勝田稔教育委員長が選出されました。

文化遺産の保持などに努め、文化の薫り高い町づくりを進めていきます。現在、生活・芸術部門（二十一団体）、美術・文芸部門（二十五団体）、芸能・郷土部門（十二団体）、音楽部門（十三団体）の四部門（千四百二十六名）があり、今後様々な文化活動を行います。詳しいお問い合わせは、奥出雲町教育委員会内文化協会

## 地域をあげて児童の健全育成を 馬木小学校、幼稚園で清掃ボランティア活動

九月二日、馬木地区の婦人会、老人クラブ（健康クラブ）の会員約百名が馬木小学校の児童と一緒に学校周辺の清掃活動を行いました。

この活動は、地域をあげて児童たちに働くことの喜びを伝え、自然環境の大切さを知ってもらい、児童の健全育成を図っていくと毎年行っています。

暑いなか皆で協力して、校庭の草抜きや普段・水辺の楽校として環境学習などに活用している砂田川の清掃等を行いました。作業が終わると、学校、幼稚園の敷地内は見違えるようきれいになりました。皆さんご苦労様でした。



活動の様子



設立総会の様子

52 2680まで。

## 馬木・鳥上地区と地区民体育大会

九月四日の日曜日、馬木地区と鳥上地区で地区民体育大会が行われました。会場では多くの種目が行われ、子供から大人まで心地よい汗を流しました。



みんなでジャンプ「大縄跳び」(馬木地区)



呼吸を合わせて「あれ!つまく走れない」(鳥上地区)



### 平成17年国勢調査を実施しています 皆様のご協力をお願いします

国勢調査は日本に住んでいる全ての方が対象となります。現在、国勢調査員が皆さんの自宅へ調査表の配布に伺っています。10月上旬に、国勢調査員が調査表を受け取りに伺いますので、調査表へのご記入をお願いします。国勢調査員を始めとする調査関係者には、守秘義務があり、調査内容の秘密は保護されます。お問い合わせ / 奥出雲町役場 企画調整課 (仁多庁舎2階) TEL:(0854)54-2523 FAX:(0854)54-1229